日本橋通器前 中谷時計店 電話三八五四 (時二) 須 凱。

月

-

B

後

10

問

华

j

9

御學明

贈

答

Cin.

14

-

奉

祝

大

舞

踏

會

30

催

FI

13

祝奉 舞 踏 會

月十 節奉祝 大舞階會を催 日午後 七時 7 9 しま 紀

京 電話三七三七番 京日本橋詰 會

したから一時も早くお求め下さいこれこそ理想の防寒靴です澤山着きまこれこそ理想の防寒靴です澤山着きま 新京吉野町二丁目

サツポロ 新ビ 到着

京

御食道出し

三笠町二丁目

金泰洋行

市 配達は飛行式 場 の 貨

唸を生じて大評判 不況を外に大發展 鰻かば焼トぞんぶり

電話三〇五二番

電二五一番

野® 御円命下さい 丽③ 店◎に

二、月入形大陳列會

本線幹×集めて優美!! 熊僧 暉谷を調で皆
新京日本橋通
新京日本橋通
新京日本橋通 電二二五八

電三八〇六番 二、空町二丁目十七

萬能七輪 電氣コタッ 僅かの電気料で卸飯が美味しく炊ける 其他常熱器各種多數 文化『かまざ』と保熱釜 電氣の店和登洋行

食料品を 日華洋行へ 電話三三四三番 は

(3)

三師を待機せしめた

三、 平満破路局は南京東谷より党事をです。 一、蔣介石は鄭州に自己の直系軍第二第三師 一、東京政府は全力を以つて抗日政策機線を 「奉天十日麓嗣通」 南京政府は念々日本軍さ 機職路局は南京政府より戦時輸送の命を受り動員準備に着手した、之れがため旅客列車 は全然不規則 こなつ

河南省の開封。洛陽其他の主要都市に於ては市鷲部の援助を受け抗日運動が活潑さなつた

熱河問題に關

陸軍當局重大聲明 右に就いて常局では

話の形式でたの如き壁明を発 別頭の平和的建設の第一階程は、治安秩序の確立で、此の階程は驚くべき速度で

ある、學良は物資不足の地に多數軍隊を移駐せしめた結果、内訌と掠奪さの援凱狀態つたなら問題は容易に片付き。平和的に解決したであらうさいふ事實を想起する必が、熱河問題を観察するに當り、世人は若し、學良が熱河に積極的抗日準備を進めなか、熱河問題さ山海陽問題さは判然區別して零へねばならぬ

印度西部飼境の蟹族に對し。又ブランス軍がアルゼリアの不逞分子に對し彈腿を加へ手段を採るのは遠洲國主權の發動で、聯盟に何の氣兼ねが要るものか、恰も英國軍がのださの解釋が流布ぜられたが、衞じて左緣の事ではなく。國内の治安維持に必要の。世上熱河の治安恢復は會つて我國が聯盟に對して留保した匪賊討伐權を行使するも

「奉天十日酸調明」當島に達 た情報によれば故孫文の未 に人朱巖齢は、元交頭部長陳 原に於て大會を開催するが。 海に於て大會を開催するが。

ペルギニウス氏が出版する模 ライザール氏、フランスより アイクと博士、米國よりド

夜源に移動開始

凌順に移動すべく行動を開始 する抗日新編第一師は熱河省 中の舊西北軍沈克を總司令さ

を注

三月下旬上海で大會を開催

南京政府が 湯玉麟に軍機を輸送

り湯玉麟へ送られた兵器彈藥 外套一萬五千箸か支給されてした。 向一月中に南京政府よ - 勇軍雞軍には軍衣一萬二千箸規軍を熱河氏衆自衛軍さ改稱 一門。その他熱河省内にある義この程自己の直案傍系の各市 銃八挺で同柱。以追擊砲十七二萬種。 迫擊砲百萬種、機闘「秦天十日麓國領」 湯玉麟は 二萬種。 迫擊砲百萬種、機闘

熱河に對する

様である

關東軍の態度

關東軍司令部幕僚談

満洲を感じる

(五)

朝鮮總督府事務官

終ける鑛山の採堀惟を許容さ 消敷股の優先權 B内外製古に する軍器品の譲渡方を要求し 馬蹄十二ヶ師を編成するに要 の反對給材さして蒙古兵の騎 たらので既に調印を了した模 を執るに至ったか最近に至り 良の絲に操られ一度反前對度 良の絲に操られ一度反前對度

學見軍3階割中

寨に進出

成行き注目さる

日支關係は 許され 直接折衝を

昨八日夜之を否定して左の如有苦會見說につき有吉公使は

執政以下建國に活動せる要人見された。右暦は磐頭に溥儀

孫文の未立

國際反帝同盟を組織

動外的反響を考慮した夢良は 雄る東北軍及鸚河正規軍は現 雄る東北軍及鸚河正規軍は現 目衛軍偽勇軍と改稱

作に移るしめた格的抗日工作に移るしめた

排日目的の インチキ暦を販賣

行に関する排目暦が多数輸入で印刷された。南京政府の最に上海にが開かれた。南京政府の最 あるもので、これが原版 ・ 載して排日の思想を宜信 ・ の南京政府成文紀念日第 は五月九日の観摩紀念 那に在り満洲國内に於

支那の惡ごい策 で刷てはしを一、ある販支で褐色五

一きふさ賞ふならは 物、熱海の現状を本

説のし 熱河は

第二日では、 第二日で表演と使の歌は、 本漢人を那の領土にあらず。 本漢人を那の領土にあらず。 本漢人を物語ら地方で蒙古人種の自動なりる調 一年時代表演と使の歌は、 生活様式、言語、宗教を有する、 生活様式、言語、宗教を有する。 は近世に始まり而も其の融化とかの は近世に始まり而も其の融化とかの は近世に始まり而も其の融化とかの は近世に始まり而も其の融化とかの は近世に始まり而も其の組化。 本語様式、言語、宗教を有する。 は近世に始まり而も其の組化。 本語様式、言語、宗教を有する。 は近世に始まり而も其の組化。 本語様式、言語、宗教を有する。 は近世に始まり而も其の組化。 本語様は

ころで偶々漢の武帝。 唐の太平寛は既に贅説を要せざるこ

支那の領土に非ず出 両省の歴史的観察 である。故に熱河の主人会はである。故に熱河の主人会は めくまで蒙古人で漢人は依然

環観するに四十年來、熱河は 並し現在に至つてゐる以上を は、管質に於て支那より獨

護するの態度を持した、鉄の平和帕侵襲に對し、 以上の如く蒙古民族は漢氏族

東三省さ共に嫡人軍閥の手に

那い個土ではない。

九日の委員會

未だ决定を見ず

更に日本ご折衝する

しむるに至つた始島は三十種なり)ならん」さ、恐れ

である。 常時熱河其他の内 世界最大の工事にる長城の 大は以つて蒙古に疾の威力 大は以つて蒙古に疾の威力 奴を攻めしめ長成を修覆し萬の大兵を競して東胡。勾 五時年開着された 部會を特に早く切上け、午後 決定は見るに至らず更に日本側で折衝するとさくなつた 十五ヶ町委員では午前十一時十〇タユモーヴル日養山田)和校 次回の十九

るが、その金額約二千八百覧 その縁成を急いで居たが、略

間にしてその中

製級獎勵金增加約日萬 傷病丘扶助金士的五十

ケ國委員會 待ち即開 日本の回答を

回答を守ち即開される事でな「タユオーヴ九日韓國語」次 どなつて居る 我が回答如何は注目の的

加へて南漸し、長城以北の奴あり、匈奴は逐次勢力を

時した。

熱利問題を説明諒解を求めた「東京九日砂湖道)陸軍では「東京九日砂湖道)陸軍では 參議官會議 非公式軍事 が主なるものでありいづれる 小年度追加豫算は未だ大磯省 ででいるで、從つてこれが 至つて居らず、從つてこれが での要求命額は稍當の下的 がもの要求命額は稍當の下的 に遂して居る 人事往來~

▲范氏光氏(中東鐵路理事)同理事)十日午前八時以十分理事)十日午前八時以十分理事)十日午前八時以十分

本本柱林氏(中東鐵路警備縣 長)間上 和縣民(中東鐵路際事)十日 中前九時大連。 大吉與氏(中東鐵路際事)十日 中前九時大連。 長)同上 長)同上 長)同上 長)同上 長)同上 長)同上 長)同上 長)一十日午後四時卅分廟行 長)九日午後四時卅分廟行 長)九日午後四時卅分廟行 長)九日午後四時卅分廟行 長)十日午前八時今京 長)同上

分であるさ 分であるさ

一同岛列

分は、過段來大藏者主計量で 追加豫算中、瀟洲事件以外の 詞奏上——王莫奉莫——撤饌 被式——「扉」——献饌——祝 滿洲事件費 追加豫算略决定

で以府極度に憤慨 の非禮を

「東京十日建國語」 嘴盟ョ支紛罪に和協か否かの重大分岐點に立至つた中央に宣するを否辞與政府の回答は文章で求むるの非職を示したに對し外務省は個度に慣慨に宣するを否辞與政府の回答は文章で求むるの非職を示したに對し外務省は個度に慣慨いあるこことなった。帝認政府は先に聯盟に意見書に於て歴史的、地理的。合理的に協当するこことなった。帝認政府は先に聯盟に意見書に於て歴史的、地理的。合理的に協当してある。帝認政府は先に聯盟に意見書に於て歴史的、地理的。合理的に協当してある。 「東京十日建國語」 嘴盟ョ支紛罪に和協か否かの重大分岐點に立至った中土力付表部に急度 「東京十日建國語」 嘴盟ョ支紛罪に和協か否かの重大分岐點に立至った中土力付表部に急度 重ねて我確信を通告

はずき決定次第、明田中にも ル帝國の所信を明らかにする が松岡代表はこれに先立ち十 が松岡代表はこれに先立ち十 が松岡代表はこれに先立ち十

せねば

發表

松岡代表所信を

我案を受諾

紀元節祭の

額する稳定である

會合し、十九夕朗委員に提

丁九ク國委員會幹部終了場

出すべき報告書の討題を機

外國記者團に所信を競者せん

九國起草委員會

儿國委員會

調起草委員曾は午後の軍縮幹 (ジュチーヴ九日**鼓**幽鎖)九

開かる

几日午後

お除く

コンシュニケ發表

コンミュニケを検表した 十九ヶ國委員會は年前の會

鐵血軍で改變され七日突如石 例の第十九路軍の一部五白は に最後まで皇軍を惱ました。 九ヶ河季員質は九日だの如き

炎を同にしては、心自ら関な車の大人が、愛見をあやす容 の練兵場跡。東北大無電台等東北大型。兵工廠、北大營傍 西施、若しよく吳屾を亡ほずり、吳人狂」して西施を怨む を眺めては、張明良の麾下 さきは越 亡ふら時又是わ

抱するに至つたのも無理か ね事であつた。言背背し てせ 高いない。 一三十分を収容した跡を検がし、 其の經過。状況を聴き、我が 類鮮機督所派遣員長の仲、器 原各位の勢苦を察し、感謝に 堪えぬものがあつた で見すい他、器 で開るこさにし、午前十時 機で贈るこさにし、午前十時

勝兵の次心さ意識さに感じ 軍の神甕集敢、當時に於け たど、たどよくやられた北大登の戦跡で見撃して

を利用し内蒙古の名王師監長 | 承王府内に於て成種の密約を 関係によら内蒙古の本研罕士 | にて直接赤路ミ交渉し北中順 日本牽制策さして自己を頻誠 | 解を得んさし又遂爾罕王を明 上で直接赤路ミ交渉し北中順

私は漁花花の小部「寄年木」の

よくも、家易なこさださ感じの難道布設に和設されてめる。田 岳車盤、地勢に變化ある地域 は重要、地勢に變化ある地域

北陵では。

心し、黄古の情を催し、唐人にイ悲なれ。人工の妙趣に感いない。

殿い原野を列車は、勢いよく

密約を締結す

若い將校、それから下士、

同じ感慨はあらりがいよい

に向ふ れた野に、斑々さ雪か白く、 れた野に、斑々さ雪か白く、 で動化してある

は装重々しく砂塵を掲けて行いて、日草旗を掲け、刀を革出て、日草旗を掲け、刀を革温は低く、風が寒い、郊外に

その歌喜

庫倫北平間の鐵道

敷設を認む

向けの高島さんが のいで励るなんて、師走小旅 によさわしいですね」 ご覧は

医るのには慄然こした 一躍や6の果々こして散亂して 機關銃の猛射に弾撃庫の爆戦 敦れる感慨深いといがあり、 を見、城壁の大なるを仰き、宮殿跡にる博物館、摩良邸等

云ふべき事を言ひ物して居る問題を氣に病んで居るが、我問題を氣に病んで居るが、我問題を氣に病んで居るが、我

の方針に依つて邁進する一途 に横洲國の一部でよつて、本 問題に闘する限り、國内の事 件で敢へて他國の容喙を許す でも紡台のものではない、役 つて関東軍さしては只々既定

さ打合せをした (根事館はじめ観冷の各方面を

執物に瀟洲鹹

そんな「サビ」い消し傾んでしての歴史沿軍はあるか、

に素陸した。 に素陸した。 に素陸した。 が 航空時間僅かに一時間を四十

東流の工会いか良いご見えて 高度三百乃至三百五十米突で 動搖もなく。一直線に飛ふ、 力の方に「丘阪かあるが、た の方は一望像の如き大平原、 住路、羨ましいまでに屈曲の おり、選が造りである、長春あり、選が造りである。 というののでは、総上がほりでは、総上がほりでは、 会であるさ感ぜられた、鹹都 らかあるか、新京は、名の通 きかあるか、新京は、名の通 新京號行場

和協手額きの可能性がある 基礎こして兩常事製に強達 したる案及び翻長宜言案に したる案及び翻長宜言案に したる案及び翻長宜言案に が担案を考慮した、然 るに新提案を考慮した、然 るに新提案を考慮した、然 るに新提案を考慮した、然 るに新提案を考慮した。然 現型草委自曾は4日午後、 和前年段に闘すら勢力を水和前年段に闘すら勢力を水 に似する報道に對する以 態を悲鳴せしめ、假りに軍事行動準備を以て更に

十一日封切二日間晝夜公開 経竹本格オールトーキー 経竹本格オールトーキー 経竹本格オールトーキー れ列
た
さ 小役市村美津丁 一言の二 松竹共營 お菊ちや H 特作 長 岩甲祐吉、岩、照子 春

おい東元を安心して買える店

TINE TO SUPPLIES THE SERVICE OF THE

米亞問題の

百二十七人內 日傭勞働者七

同同巡查

圓山東川川森

中でも、もつごも肥沃と云われてある。同農場は吉敦沿線の大和三治外三氏の手で進められてある。同農場は吉敦沿線

たっぱい を有し日下賀業部その他に許さして先づ試験的に鮮健三十二 での 別計費

感謝と希望

~

0

子供どうざんが一番好き

可出願中である

さして昨春季天に設けられた

らの休憩所さして有意

先覺者大慰靈祭

紀元節日比谷で擧行

果京九日

5先際志士の大尉羅祭を行ふこことなつたが、各似一日の紀元節常日、午後一時から日比谷で東亜同年介九日魏河通】 蒲洲問題単統一致各派聯合會は

百四十九人女五十二人,前月

関東長官より精勤競を

組合組織

0

大農場計畫起る

の名譽のる受賞者氏名は左の事より之が授與式行はれるこ

頭りで

他の勞働者九百一人內男

人内男白六十一人女二十

對し、國東長官より精勤證をけて居る新京署員中十七名にけて居る新京署員中十七名に

四千百一十七人內男二千八百

干七人女一千二百九十人

人職業別を見るご給料生活者和京警祭署管内の一日中の邦

新京署の

精勤證授與式

市内和泉町二丁目議殿計宅。三二ノ二號、赤崎新一春木覧一日午後三時から同四時の間に一日森昭。の三名合宿舎に八日午後三時から同四時の間に一日森昭。の三名合宿舎に八日本の間に

幻り選手様で規定乗り履けした つてゐるが、新京署管内では

が、一月末より荷不足ごなり おい商品海搬に従事してむた 不露人間の額役クレメンスキ

してゲン支部長に對し不穩の

者に對し動解を爲すここを得必要ありさ思むらさきは萬事

馬車業者は五十一名居り、自理在電城子在住の白柔器人荷

きは其の事由

(-

職祭を行る祭だか、蘭時同問題に参拝した中

たち西郷南州及び日支。

で、 ・受応士一千三百ヵ十四名の ・受応士一千三百ヵ十四名の ・受応士一千三百ヵ十四名の

中央師

合會加盟團体の日露協会、東亞回文

博士は慶世大母病院で手腕出中氏が囑託さなつた今出 鐵病院婦人科醫長醫專博士今

蒲巌に招聘された人である

給料生活者

られた牛羊肉は、牛六十二頭居る。尚ほ岬戸大連旅順に送

満鐡祉宅に

に於て三月以内に解傭したる 通知すべき事項被傭 4を再歴 通知すべき事項被傭 4を再歴

氏名、勤務申、等務及給與並人營を命ぜられたる被傭者の

事を奪は

白系露人困窮

寛城子の荷馬車届さん達

蘇聯の壓迫加はる

署長)に屆川でねばならぬ

(機機附層地に在りては警察

傭品は左の事項を闘 東長 育番知すべき事項も規定し又履

事項被傭べより雇傭者に對し

現狀に鑑み戸籍事務の創定連を前に控へ製事事業人熱河をを前に控へ製事事業人熱河をとしてゐる

四、戸口調査に関する具体的に弱し之等事務處班の能力及將來司能率及將來司能率

方法

ふすばらしい数字を示して

異常な人口の増加に加ふるに 新正月舊正月ごお目出度整し の本年一月の新京附屬地市民 の本年一月の新京附屬地市民 の本年一月の新京附屬地市民 の本年一月の新京附屬地市民 なかれ二萬六千九百十四貫市 民の飲んだ牛乳は六十二石九 十十升(三千二百七八回)マ

巡河同同同同同同同同同同同同

王竹吉坂田皇伊阿後龍山坂林張 內原本村 澤部滕澤口本 知德 文 外 春知久岩長長清荒金 4 四

に決定

个出中博士

ペロリ

京署解務囑

お

月中に

和六年四月一日附法律弟五十入營者の職業保障に就では昭

のみ他は未だ提出してないま 作者が人登したる場合原傭者 は係員について承合すべきで ある

一、縣内の戶口調査に翻し之 た た た

一萬七千貫の

肉を

七號に依り人營者職業保障法 昭和六年十月三十8附勅令第 一百六十一號に依り入營者職 ・保障法施行令、十一月五日 ・保障法施行令、十一月五日 ・保障法施行令、十一月五日

洲國で

一、「一口調査业に之等事務取 一」、「一口調査业に之等事務取 で、「一」では、「」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「一」では、「」では、「一」では、「「」は、「「」は、「「」は、「」は、「」

野菜が食べれそう 公主債の農業實習所長が 満鐵ミ目下交渉 買

議職の敷地さして故任されて 工場敷地約十二萬坪は永い州 が京観道北猛家衙の議域々道 の質下拂下の申込殺到し、土地不足の祈柄きて名方側よ 称京地方事務所土地係では整 発料生活者六十人。内男五十 を料生活者六十人。内男五十 内男四人、女一人其他の移動四人、女六人日傭勞働者五人 **煮一十二人內男二十一。**

菜が安價に手に入るわけであが、契約締結の際には水く新が、契約締結の際には水く新が、契約締結の際には水く新が、契約締結の際には水く新が、契約締結の際には水く新が、契約締結の際には水く新 自營地さし、新京人に新鮮で土地を同曹智所卒業生の農業土地を同曹智所卒業生の農業 統計によれば四十名さいよおに赤ちやん選は新京警察一月に附 目出度さで。 出生死亡統計 その内澤左の適

さてこのお日の 朝鮮人

あ計 外國人 支那人 日本人 男 · 八 三四名 八九八名名名

八営者の職業保障

国出で

新京署兵事係から

はなった氣の海な人通の數

内地人 男 一上 四二三八七 者に左の如く語ら

色オトバー着五十周その他服色オトバー着五十周その他服

底を期するため作で記す道により皇、王

さ。毎白い注文さ青年らしいはよつて統計したものを見るによつて統計したものを見るによって統計したものを見るになってが計したものを見るになっています。

三、巣器さラデオの設備を望って質ひ度い 四九 四九

七回六十銭を窃ュ逃走すた怪一流の名を新京署員が乗り逮捕し、取調べた電石は母天省生れ前科一犯银俊昇(二五)さ判

た

傳染病二件

引揚げ終る

進少佐等の

ら新京署に取押へ手配があつ 跡があるため八日大牟田署か

人を逮捕につきめてゐる

四十二

新聞雑誌を多く備へて欲 三九

Ħ ==

7

大力へルナライン

当事でも言えん

19

を業期を前に在 両各校では早 くも新卒業生質込み運動を開 始しつつあるが、昨日來京新 始しつつあるが、昨日來京新 を業生の就暇に就て各方面ご 交渉中のハルビン日路協會學 校長來京 高田日露協會

全回講州國々都を中心さして 柔道會設けらる 軟弱 掃に

今年日六十名募集する職り 名だ、其中大同興院に十名 推薦外に演洲國政府各部へ も依領した、議洲の状勢で はロシア語ばかりでも切か めので、毎週五時間必須課 目さして生徒に支那語を叙 へて居め、鬼に角卒業生の で居ら 就職に就では毎年頃を痛め

卒首な感謝を表して居る

五。現在の食物の外有料のう

前借踏倒し

六、小供が豫山遊びに來る事

を望む

Ξ

一月十日情介を3典謀し前借をで観察三番基部高橋九九二、電池の機井アイ(三)とは娼妓さした中で前借六百八千圓をなし本年で前借六百八千圓をなし本年で前借六百八千圓をなし本年で観察三番基部高橋九九二、電

市内 発月町三丁日六七四宮崎(七)は九日韓熱し西垣醫師の診断の結果デフテリヤ 三判明した 中五孫祖三公榮優(九)は一月三十一日韓幾し西垣醫師の診断の結果八日猩紅熱さ判明した

いした

ダンスの會

時局後援會

新京署へ五白国

職運動に

卒業生の就

調助會員の別に分れて署る一、國都中心の道場段立運動

四、小供が集るのでトラも前 気の毒に思ふ者 八六 しるこが甘かつた者五一

寄附

Ξ

・食物は一銭でも二銭でも 一気の番だ 1011 一気の番だ 1011

突如新島破見さるか

我海軍では車大視す

ショー翁

サヤ箱をひつくりかへしたや で来たのがボットへ破つて残 つてゐるのはこの妓一人くら ひだらう、抱へられて来た時 みんな小さくて、まるでオモ みんな小さくて、まるでオモ

に入る

二十八日別府

うだつた

コース南に

ピタルは六時半新京會館は七 時から何れも華々しく開催さ れるさうである

子、阿抜は徳島のうまれ、南 海では古朝だけれご手は二十 海では古朝だけれご手は二十

ハ白の金星

元節奉配ダンスの骨がキャ

ルル横濱

党染病院は 贈する事に決定し

一萬坪工程三十萬圓 「規東九日養國補」昨八日午 柔剣道高點者に授與される で、カナダ太平洋汽船目駐の た、カナダ太平洋汽船目駐の た、カナダ太平洋汽船目駐の が、アの談に依る が、アのでは が、アの談に依る が、アの談に依る が、アの談に依る が、アの談に依る が、アの談に依る が、アのであるか本日出來上のた本

中洋上に長さ半哩、高さ十五 の中央に點火され n るを發見 したが其處の結は注意されよ この無電を受けこつたが、其 での場所はポノルル、精濱間の の場所はポノルル、精濱間の の場所はポノルル、精濱間の の場所はポノルル、精濱間の

演藝だより

でありますかしら

ますが、彼氏は果して何性

今月の演勢はさうですない。系

大阪府船に入電あつた

「大阪九日韓嶼通」 イギリの 文豪パーナード、ショウ翁 は世界、観光船エンプレス オブ、ブリタア號で廿八日 上海から別府に入港する旨

は凶、九紫の人さは大凶ごあ一百七赤の人は音、三碧の人でならば大吉、五百七赤の人は音、三碧の人でならば大吉、五十二歳は丑年だ、五十二歳は丑年だ、五十二歳は丑年だ。

fi

も糾明に隔起さなつて居る

城内にまた

十日は高藍全部を取替へるさ

の事因に同一行は十日夜限り

展議の女捨丸。安米師の元租 川黒ろくを中さ心する大一座 川黒ろくを中さ心する大一座 川黒ろくを中さ心する大一座

費用三十萬圓を投じ埋想的の 簡易宿泊所

野犬狩り

廿日から

首都警察廳犯 人逮捕に活動

りまた画映

お存在とは十一 というのオール というのオール というのオール というのオール

体から云へば勇氣に誠實で押火み來るこいふんですな、大

へて決行すべしだ、遠方さの にし尚それを参考に自分で考 はし尚それを参考に自分で考

盜

東年の不況にあえぐ円地か6 地間ご共に新天地目がけて進 地間ご共に新天地目がけて進 **現在既に干名近いき見られて** 浮浪者の殺到日増しに多く、

名の宿泊申込あるに徴しても 冬明間に於ける應念對策さし て十二月一日から候道北に臨 を收容して 銘仙泥棒掃はる

朝鮮獨立の

主魁秘書潜入

・二黒の人

一白の人

ある

田村秀雄方から路仙一尺價格一本代五番地新京白貨店内県服物・

其の愛情が充分に察知される とは決して一時的現象さ見る べきもので無く、今後登々権 がせんさする財態であり、こ のまででけば必然的に犯罪 のおいておけば必然的に犯罪

館山冲で大破

地の中七名は、直ちに駆け付け ので大いに借まれてたる は の中七名は、直ちに駆け付け ので大いに借まれてたる は 地の中七名は、直ちに駆け付け ので大いに借まれてたる は

計畫は署々進捗して居たが、所を新築する事さなり、既に

月限の閉鎖される運命にある 所では種々耐策率置中である が、目下の簡易宿泊所は單に 今冬期の臨時的確較で來る三 のでは種々耐策率置中である

領事館向側に新築 の質地検分を指し

計ら事さなった。而して知問 最宿泊所は朝日通り、二七十二九番地(領事館の向即)一 千百卅二平方米を新築地さし 二階煉瓦建、授産、職業紹介 個易食堂、ホールをけ置した まだ結構なもの登算は第一明 一本計一に有實現を かりまするのき線想されてある をつた、當日の出場選手はたかのだ、當日の出場選手はたかのだ、當日の出場選手はため道さるに百五十人で内側道で表示されて、紅白石勘を行ふため非常な火華を高點を行ふため非常な火華を高點を行ふため非常な火華を 11十六日芯市内の野犬鼠除を 11よこさになつた、緑犬は飼 主を知り得ねべき類類义は牌 主を知り得ねべき類類义は牌 寒稽古納曾

す。本州寄贈の優勝メタルはなは終つて署員。敵勇変を催

九〇式二號飛行艇

は九。十冊目に亘つて私服巡 中乳・饗込めるを恐れ同署で 中乳・饗込めるを恐れ同署で 怪しい牛乳

・九紫の人

薬組員三名は行方不明

を賣る男

一月十一日

億行よりなるはなし勉べし

けふの運勢

七日十月正舊 安申暗

氏破大戊土

川崎弘子岡護二、 上演する、

澤關子共演

交渉は君に有利だ

・四縁の人 ・六白の人 ●五黄の人 ●八白の人 ●七赤の人 ●二碧の人 我を惠むこさ總行 内さ丁さ亥が吉 内さ丁さ亥が吉 ででもわれご納 ででするかっ ででするの自信を以下 ででするが古 中、卯さ乙が吉 でいることが高いなりでも大体順調に深ぶ 申・辛さ亥が吉 中・辛さ亥が吉 乙、申さ辛かち **ル吉** ぎも入るこごも亦大なり ご敵を受くるここも多し注意 以て進むこきは何事も過速す

店員二名至急入用 年齢十七、八才ョリ二十五、六才心 大和 5 リ 脱人ラ有スル者

るこで發見。今聽引揚けを完進少佐以下三名は沈没してる

の十五祭もの、緊然に狂った夫婦が死の一歩手輪まで行った時呼びさめられるさいふもの、添べきのに天才子役市村美津子主演結城一郎岩田站吉老水絹子助演もの「残されたお菊さん」がある 花





證明された 酵素療法の偉力

四年博士 納野治是

消化不良 老人性衰弱、重病恢復期に

種々の療法に頑強に抵抗してきた各種の慢性胃腸病に對して、生物學的見地から造して體重を増加し、重病の恢復をも非常に早からしめた。

「わかもと」によつて始めて充分なる食慾亢進を示した。――同時に、榮養不良な別した臨床成績を通覽するに、胃傷疾患による食慾不振や結核に原因する食慾減退の場合、デアスターゼ、ペプシン等の消化劑を與へて滿足な効果を得なかつた患者の場合、デアスターゼ、ペプシン等の消化劑を與へて滿足な効果を得なかつた患者の場合、デアスターゼ、ペプシン等の消化劑を與へて滿足な効果を得なかつた患者の場合、デアスターゼ、ペプシン等の消化劑を與へて滿足な効果を得なかつた患者の場合、「わかもと」によつて始めて充分なる食慾亢進を示した。――同時に、榮養不良を入性衰弱、重病恢復期の人々に服用せしめて、癸養狀態を佳良にし、衰弱を著く恢復して體重を増加し、重病の恢復をも非常に早からしめた。

胃、液酸症、胃アトニー、胃弱等に

常を根元から正調して、正規の機能に還元したことを實證するものである。 常を根元から正調して、正規の機能に還元したことを實證するものである。 常を根元から正調して、正規の機能に還元したことを實證する。 は、「おかもと」が胃でした。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證した。 一一即ち、之等の患者に「わかもと」を服用せしめ配合も及ばないことを實證するものである。 腸虚弱症 異常酸群、鼓腸、

12

便を得させるを常としてゐる。一殊に、家庭で便秘の治療を望む患者には「わかもと」で正習慣性を與ふる在來の下劑に代へて、特殊なる場合を除いては事ら「わかもと」で正外もと」は下劑の如く一時的の便通でなく、規則的に快適な正便にした好成績に鑑み、かもと」は下劑の如く一時的の便通でなく、規則的に快適な正便にした好成績に鑑み、かもと」は下劑の如く一時的の便通でなく、規則的に快適な正便にした好成績に鑑み、水の機能を振興させるからである」と唱導してゐることが寔に至言であることを、その機能を振興させるからである」と唱導してゐることが寔に至言であることを、務敗醱酵を制し、膓胃の諸種の障碍を防ぐその効果は、組織全般に及び、殊に便秘を、務敗醱酵を制し、膓胃の諸種の障碍を防ぐその効果は、組織全般に及び、殊に便秘を、務敗醱酵を制し、膓胃の諸種の障碍を防ぐその効果は、組織全般に及び、殊に便秘を、務敗醱酵を制し、膓胃の諸種の障碍を防ぐその効果は、組織全般に及び、殊に便秘を、務敗廢する膓胃疾患の權威者、墺國のバウエル博士が「ヘーフエが消化作用を促進し、 **飓固なる常習便秘に**

のみの服用を勘説してゐる。

かもと」の如き生物學的藥劑を投與することが最も適切であることを涌感する。かもと」の如き生物學的藥劑を投與することが最も適切であることを通感する。との憂慮すべき乳小兒の膓疾患に「わかもと」を投與せるに、幾何、一般,便秘、下痢は多く數日を出でずして輕快し、殊に人工榮養兒の哺育料中に「わかもと」を添加すれば消化を助けて便を整へ、著しく發育を促進するに至るは既に吾が多く例證せる處である。特に、發育未完の乳小兒の膓胃には、化學藥劑にみるが小兒の膓疾患たる下痢、便秘等が持續すれば必然、續發的に臟器の榮養並に新陳代謝小兒の膓疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の膓疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の膓疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する、それは乳乳小兒の膓疾患は、極く輕微なる場合に於ても吾とは之を頗る憂慮する。

殊に乳小見の膓疾患、緑便、粘便、便秘



育兒 0

勸告書の内容では







食道

青柳の鯛すき

定 價 一 就 会三值。 第 稅 一個月 金十五度 前在人類所可百日鄉間 發行所 教育日日新聞社 在第三二三届三三〇母 發行人 十 河 榮 忠 編輯人 松 本 興行

我が代表部一時間に亘り 對策に就き協議

態よ聯盟を脱退す

含せしめ、更に進んでポイコットを承駆すべき又項を包たづ今後締結又は改訂されるため一級間の通商條約中ポイン・大学のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、 絶成するここを希望するも が登現に對し最 吾人は一

代表部會で 回答案を練る

代表部會議は九日午後三時半(タユチーブ九日發調通)我

我 對熱河立場を説明

作成の上ドラモンド事務總長 **ず堂々反對の報** 第九章七項即4 に関する回答は政場に請訓せ 日中に回答案を思及を明かにす の構洲國の主機

打戦する所あつた

其の他に関し本副政府に報告。直ちに十九ヶ詞委員會の評過 る具体的態度につき協力のあるとし、更に第四項

総長と會見

後四時から三 種より日本の立場を開

松岡全權誠意を披瀝

明した後、松崎の 明した後、松崎の 日本の回答は本明日中 して述べたが、 の招きにより午 日本は熱河で珠更に戦闘の 撃に出づるものではないが 最近學良が内政上から兵を 最近學良が内政上から兵を 以つて看過し難い するを 以つて看過し難い

支那側 題である熱河間魁に入り、公 日本

和協の前途 一大暗影

日本案に

も修正希望か

か、日本の上海撤退の條件 さして一種の密約をなした さか又は緑洲國既に事實さ して認めるが低め、小國代 表連を脅かした等官傳する は實際的根據はない 次で英國は聯盟規約を建守す るが故に和協の途を講じ或は 委員會さも協力するご論じた

こといふに決定した。我が回答の第一原案は九日夜脫稿につき陳述書の起草に决し愈々第四項に握る勸告書かる中外に闡明する爲めコンミユニクを發表し聯盟規約を中外に闡明する爲めコンミユニクを發表し聯盟規約

日本が脱退し

南洋統治權は日本に屬す

田 (中国) は (本) は (

郵府ポスト紙正論をはく お総長より我代表部へ傳送されたが、松岡代表は午後四時 五十分ドラセンド總長を訪問 し改めて書面を以て回答する

日支直接交涉論!!

(アシントン九日麓國祖)日本の聯盟脱退に伴ひ我が南洋委任統治地の歸屬如何は各方衛の視聴を集めてるるがアメリカ闘務省機関紙さして有力なるアメトンボスト紙は八

日の社説に於て(日本の委任)
日本が帰盟を脱退すれば委任を保留する權利を失ふべしこ一般に言はれるも右は

米國の對日急變は

あり得ない

事

したるものであるから假令 日本が聯盟を脱退しても聯盟はその委任を取止る様な 事はあるまい云々 定方針を繰り返すもので十九 である、尚其の回答内容は既は本調政府に請訓しない模様 ク阅委員會の意見き一致せ

满人

人は人

八喜

ボイコット てあるか、それに親しては隣 ・ 議州國人間に衝動を興へ し、議州國人間に衝動を興へ し、議州國人間に衝動を興へ

接交渉が不調に

恋々歌園さなり に終った場合は でなく真ちに平 でなる。 である。

を発れ人民も亦

國際商業會輔總會に我が國內では昨日工業クラブ常任委員會を開き五月廿九日開かれる 委員官より提出すべき翻案を 國際商議に提案 果紛爭解决に至れば軍事行動的である。即ち直接交渉の結別時限に至れば軍事行動

は米、英の如く前に領事をといる。上で是認してるるは、英の如く前に領事をといる。上で是認してるると、「成別國を永久に承認せず」、上で是認してるると、「成別國を永久に承認せず」、上で是認してるると、「大学

我外務當局の觀測

かてる無責任なる公約は行 外務省は機測してゐる商取引をなしてゐる大國は 變更說も全然信じ得ら 計在せしめ且、實際上の通 等の點から見れは米國

變更說も全然信じ得られぬさ 等の點から見れは米衂の態度

支那側の妥協案ミ

我政府の回答

務省は次の如くこれを否定的 を紛争に対する米製の態度に は、最近又種々疑惑を與べるが如き報道が傳へもれるに をがかきれば、これに関し我が外

たの要旨を決定した。 ボイコフトの經驗よりして、附額の結果支那に於ける日貨

脱退の責任は 奥へ、 廷ひては世界の平和を要で關係顧民に最悪の影響を要で關係顧民に最悪の影響を要で關係顧民に最悪の影響を

責任逃れに 全力をつくす

遂に結論に達せず

妙なる動きを見せつくある際に於ける日支紛争が非常に徹

頑迷な聯盟にあり

形勢は愈々重大化す

間の反目的で右の所説

C9 14-

職盟に加入すべしさの所信 の大統領就任さ共に進んで の大統領就任さ共に進んで

那側の安協案に関すっ日本政一は九日午後二時ドラモンド事(ジュオープ九日麓薗通)支一府の十九ヶ國委員會の質問費

和協は結局絶望か

確認すべしさの説

に動する米國不承認原則を 静原支持を興へ以て備州國 職案に動し米國か非公式の 動策に対し、大國が非公式の

九日の起草委員會

日午後五時三十分より別會さの日午後五時三十分より別會さの日午後五時三十分より別會さの世代れた起草委員會は和協失敗の特別さるべき職制並に其後の特別さるべき職制並に其後の特別さるべき職制並に其後の特別を の任命を理事會に変任する事のの任命を理事會に変任する事態に建せず、午後七時三十分論に達せず、午後七時三十分論に達せず、午後七時三十分の職をであるが。本日の間担めの職をであるが、本日の間担 1週間和十九人委員官は和 協の努力一時失敗したこさ を表示したが、 商多学の見 込なきに非ざりしを以てサ

の内「その後の一段情勢に調ありため、十九ケ頭委員會の先づ、日本の和協的努力をあたび、日本の和協的努力をあるとした後、十九ケ頭委員會のからない。日本の和協的努力をのからない。日本家を審議した結果、お次の内「その後の一段情勢に調から、日本家を審議したは、おりの内でもの後の一段情勢に調から、日本家を審議した。 總長の書翰は 聯盟の責任廻

和して」 きある點についてり を承認するものご解するが如何き述べてあり、聯盟の責任 側逃離なる事は夙に帝國の責任 設部が昨年十一月廿一日以來 線の返してゐら所を全然無視 し依然愚辯する様な案に觸み 十九ヶ調委員會に和協の誠意 は殆ご皆無であるさ云つて居 和協交渉に

對する

の論調は左の如くであるの論調は左の如くである。政府機関紙並に右派ないが、政府機関紙並に右派ないが、政府機関紙並に右派ないが、政府機関紙をに続け -英國の論調-

外務省場託さして公岡全権に 機件等所に於て活躍した前駐 機大使部一等書配官御厨信一 氏は哪盟總官も近く終幕を見 るので之が中間報告の贷め歸 初の途七日駅泉に到着したが 無秩序を充分認識 **鬱府より歸朝の途にある** 御厨囑託語るー カレつつある、然し小切開 の無秩序無統制を充分認識 するに至り、日本側の希望 に励ふべく誠意をもつて努

和一元節休刊 より七二日間県ヶ刊 5 休刊

長の熱河に闘する質問が我代に表部は十九ヶ崎委員會の質に表部は十九ヶ崎委員會の質 十九 委員會に提出し指命を受けるが困難なるため更に十九ク網 九ケ國 委員會に 誠意は殆んざ

語の策励は相當登慮すべきも 語の策励は相當登慮すべきも

解決案の作製に向はんさし 最後案を拒み和協の努力は 失敗すべき情勢にありリッ 失敗すべき情勢にありリッ 今更一步も退けぬ るる

補幣務局保安課長 金井温冶

我提案は最後的 松岡代表語る

稱繼子窩氏政署長

補普勵店民政署長

豆元 啓

寄安高昨

及外田龍喜

お 「ジュキーブ九日酸幽迪」 松 が今東變更されるものか、先 間代表は事務總長ドラモンド 方の得心が行く迄二度でも、 氏を訪問するに際して大要左 三彦でも話す積りだ、我提案 の如く語る は素より最後的のもので一歩 は素より最後ののもので一歩 で蒸し返へされ少々迷惑だが てるる 各國は支那の 海務局底初課長を命ず、 「海務局理事官 際谷久古 海務局理事官 際谷久古

木豆雜果大新京 發送貨物 九日新京驛 豆

0 特産買付は へまで反對 安員を擧げ陳情す

質占の件につき審議。民業を一番所に開催された節員會に於一番所に開催された節員會に於一番を持て、 日本の中央銀行買業局特産

田。出島の五氏が撃けられた一致可決。實行委員さして永

腰迫するものさし、中央銀行 京機領事に呈出する事に満期 同令官、在別京日本大使、新 同令官、在別京日本大使、新 日下緊急の問題は極東の為 さいふよりの欧洲自身の為 でいるよりの欧洲自身の為 でいるよりの欧洲自身の為 の精岬を確立するに任る、 でれ本紛事の是非から離れ の粉事に容喙するさいるよ り等ろ自己保存から出たこ 認するを恐れ武力を葬るさ抗争の手段を國際聯盟が是 いふ傳統的立場から蛙鳴蟬

を支持する代價さして西藏 別ち英國は日本の議洲政策 ト「フリーハンド」を得たさ

るは尤ものここだ るは尤ものここだ のは説する為に好機質を利 用したので、現に建國以來 財政々策も改善され善政を 施しつもある (メイル紙) 十曜日の十九人委員會の行 十曜日の十九人委員會の行 ・中曜日の十九人委員會の行 極東の根底に横はる支持が 電然の反動さして建図され 電然の反動さして建図され 電がする質め同戦を支持が のでである。 を欲する質め同戦を支持が を欲する質め同戦を支持が 適用を云々せんさするは過い 家を担絶し「サンクション」 十九人委員會は日本の最後 一萬大國側珠に奏過は極力和協に努力して居るが日本側さしては外交術を離れて具管日本の所信を平貞淡日に表明、公岡全権は敢然こしてフルデャンズを列遠側に掲げて護らず、ドラモンド總長サイモン外相等は少に視けて護らず、ドラモン外相等は少には必ず日本側の為に 国る台敷額してるちやっな いだだ 結局帰盟こしては 行動で外國代表並びに操狐のお約の信用を博してある 其公明正大淡日平直の賞酔 に達するのではあるまいか に達するのではあるまいか

天氣西北の風晴か

溫さ天氣

東鐘大

經濟爛

錢豆五

先中當

西比利亞殿道で一世夜汽車 たがハルピンに入り新京に 到着して自然土道の光に沿 する様な氣がして旅の疲れ も施えた様に思ふ した氏は十日の夜行で南行 の豫定である

日本さの戦争には発き込まれない。日本を追ひ出せば満洲は混亂の巻き化し無政府狀態を現出し赤蕗の蹂躙に委せる結果さなり乙より大なる不幸不利はないではないか 尚東廳節令

祝町五丁二十四番地

謝近火御見舞

(其木豆大中計其 以約豆素 他 是 会計其水雜大吉計 計 他材製豆粉 九九〇 二人 九七八〇 第一回 力 ▲上海日本向金融書

全燒 一戶 大大会の七十二八大大会の七十二八大大会

→ 上海倫敦向 一志 上大金

十日午後七時四十分配町五丁 日十四番明吉川方から出火一 様一戸を全線。同八時二十分 観火。原因及び損害新京署で 鐘鐘大大

先中當 ▲ 限限限 ▲ 民限限 ★ 大阪三島三川 東三島三州 男 三島三州 米 米

電話護受でなり、赤木方、原赤木方、原

千葉修一商店精米所

市内日本機通日之出小間物商市内日本機通日之出小間物商 では十日、日之出商を呼出し、「真意を確めるべく取闘中であ

取締對策

「奉天十日發劇"」大講洲正 我潮では來る十六日午後一時 城内警務廳大講堂に於て約七 百名の新劇員の第三回官督々 盃の式を舉行するここに決し

郵便局から

正義團で

何柱國は

3

第三回宣誓々

(山海陽十日酸醤通) 何柱國 で前角技師王某は途中窮し何柱 の自技師王某は途中窮し何柱

遂に一帆京署に届 新京警察署では母近居住者の間に行はれる額母子講に就いて調査中であるが之が極端なる選用け却つて無産階級を苦しめる結果ミなるので之が隠場なるない。 新京署で考究中

一十月二年八和昭

鬼を賣った金で キングを贈る

では日本軍用鐵道による進撃を牽制するため、北寧線沙河を牽制するため、北寧線沙河を牽制するため、北寧線沙河の大坂県を行つたさ

(山海鴨九日藤崎通)七日午 後四時伊太利兵三名は山海県 はり秦皇島に騎馬にて歸来の が中、山海陽を去る西南方十 二支里餘の地點附近で中國騎 兵三四十名のため突如猛烈な 兵三四十名のため突如猛烈な に随射した営めイタリー兵は 名は遂に射殺された 名は遂に射殺された 名は遂に射殺された

中だが先月初旬にも中國兵の場が、再件があり、再び斯くの如きが、東件があり、再び斯くの如きがは極事に憤慨し中國軍隊に対して嚴重抗議を貫す可く協・大手を詳細報告した。

建誠一周年記念を明し協和會「新京十日誠通」三月一日の「新京十日誠通」三月一日の

嫁

に行った筈の女が

粥寄附の施

線鐵橋破壞

「錦州十日軽観通」僅かキングー册に依つて在錦州〇周管下の特兵を感激せしめたさ云を11、それは十歳に成らないか學見意か懸命に育て上ないか學見意か懸命に有て上がた可愛いと兎を受ってキン 此の美しい贈り物は直ちにだ野士を慰むべく送り届けた。 一冊を買求め、節線にある 涙ぐましい少年

拓務省出張所 特務部內

日午館引越しを了した特殊部内へ移る事さなる特殊部内へ移る事さなる

お引越し

賊商賣も

寛に付せらる:
の純眞な手紙き共に各隊の回

供は一年生の時から鬼一

年貢の納め時

討伐狀况報告に來京し

堀内少將語る

東の鬼は段々殖えて去年は 東の鬼は段々殖えて去年は 東の鬼は段々殖えて去年は 東の鬼は段々殖えて去年は 東の鬼は段々殖えて去年は 大二一匹買つて育てて居りま と二一匹買つて育てて居りま と二一匹を賣る事に相談が た鬼二匹を賣る事に相談が たって皮毛を八十銭に賣っ でしていました。肉は受持の

「新京十日國油」去る一月世 一日遼河地區の匪賊討伐に出 動、同方面の睚賊を一掃し、 資洲國軍のみの討伐に大成功 を收め、本月七日奉天に凱旋 した于芷山軍司令部附堀內少

りの新京布

手がイタリ 一兵なろを知り のるを知り騎中國兵を引

さいよこさだ、鍵道沿線や 各都市部落の廻りに高梁を を都市村落の廻りに深い溝を をし、一方口丈の敵の麹撃 さし、一方口丈の敵の麹撃 に備へるやうにしたらよ、 送の筈

「山挺陽十日最劇通」 毎陽鋼 部所屬職員。 騎兵、一連。衛 部所屬職員。 騎兵、一連。衛 を一選さ共に北載河に移駐し たさ

」超部下十七名

胡蘆島へ軍艦派遣に

ルピンに着く

支那軍の不法通過に 議文發送

孫軍馮家屯

現在の儘延期 「協州九日最調節」凌娘より 南下しつつあった保護全の指揮する第十九旅軍主カー線は 環境を突破し九日午前四時半 空間海承屯、田島甸子を襲撃 の指揮する〇個〇峰は之が救 切た南部落は戦火に見舞はれ 火災を起し無煙天に沖してる

ます。ごうか御覧下さい。 競の結果面白い水を買つて 談の結果面白い水を買つて

臨時法院

上海特別區

除さん選へ見せてあけて下もして見終ったら多くの兵

ん遂に負けずに

に負けずに勉強します。私達も顕洲の兵隊で

一年、小競商後数四百挺に上り、討伐後の政治工作もの約 はこめ、大明日を熱 が、小頭日七名は神縁して を北風はじめ、大明日を熱 が、小頭日七名は神縁したのに、 を北風はじめ、大明日を熱 が、小頭日七名は神縁して はなり、人氏は塗炭 が、小頭日七名は神縁して はなり、大明日を熱 を北風はじめ、大明日を熱 が、小頭日七名は神縁して はなり、大明日を熱 で同 はなり、大明日を熱 が、小頭日七名は神縁して はなり、大明日を熱 が、小頭日七名は神縁して はなり、大明日を熱

イラニ

おた金で何をしようから相 はなつて育てた鬼から生 私選が一

の如く語つた

合格者

幹部試驗

四角地帯討伐に就て記者に左に報告のため本日來京したが

佐竹先生が豆腐 こ忽さでて了いました、肉は受持

は同法院全部の同收を要求しは同法院全部の同收を要求したが充分な機能を健排し居らざが充分な機能を健排し居らざるこうを指摘し雙方の意見に相常の距りがあつたが。数次の論戦の後。取り敢えず現在の億二一ヶ年を延明。その結果により總でを決定するこうと

なった模様である 吉野大尉ら 安係へ黒日をつ

で居たもので、問題の経路は 新りである。いく代の抱妓ヤナギ事石川シケへ 八)は去年 の春父親八重治が重病に罹り を養くしたが宇命だつたこみ くたつた或日のここ死んだ八 を養くしたが宇命だつたこみ くたつた或日のここ死んだ八

不法に掠撃されたものださ取の料亭いく代の相紋ヤナギは

第二軍司令

料亭を管ん 料亭を管ん

松花江 の橋脚 間の注目の的きなつてるるの云ひ分である。果してごんの云ひ分である。果してごん

夕の淸宴を張つた

日新公司の

鞍山コークス

地盤が弛んで大狼狽 沈トし、傾斜し始めたので東 がを投込み應急策に大意さな つてゐる

修養團で開く 度。鞍山製織所のコークスー 度。鞍山製織所のコークスー 手販質を始めたが、火力は強 大煙突は度々掃除の必要なく 家庭向殊に座敷用ストープな ごには軒適。一順十一圓五十 でには軒適。一番火は三八九八

大学・ 郷樹務機理の忠實 なで九日の元宵景を選んで もので九日の元宵景を選んで

唯一の軍港ででの理由さして共 高島は満州崎 府の 大脅威できる事が舉げて居るに残す事は崩洲屻に取つて一

に同復し、市況活潑ごなりつつあるが、一時避難して居つつあるが、一時避難して居つた市民も競々歸來し、二月上た市民も競々歸來し、二月上た市民も大口は七千九百世七

と代大成功だ

高里の長城は決して支那の 高里の長城は決して支那の でなかった

大斯より自動車にてハルピン 下十七名は昨八日午機五時佳 下十七名は昨八日午機五時佳

省博家旬の東北旅館に入つた

那雌の手

110.11

我軍に軍閥 避けてゐる有樣的的勢力を腐破 部中には戦争 三日間に直り新示坡門の賃へに痛弱が行はれる事ごなり既に各方前に寄附割誘中である右寄附は一般人の好意をも受った。 サる豫定で受付期間は二月五 5名言論機關後援の下に 19条線。商移會、機務會

一防冥 ご帰郷した 教育さの一石二鳥の方法に 故でもう腹賊も大勢の 出たのだらう腹賊も大勢の

年貢の納め時ださ氣付

結晶外畝の最級を設けたのも

部下を率ひて八日嫩江に到着河に駐屯すべく張泰遜卿長は

大の神経衰弱にからり殆ぎ半病人の神経衰弱にからり殆ぎ半病人の状態で、次の様に洩したらはかくる事態を惹起せしめずに国 W解決をなし得たのに非常に残念だ。現在脚とは山非常に残念だ。現在脚とは山のカでは到底不可能だ、又即良さも第一線に出っのを避け 軍あり。板挟みさなつて強度を受け前面には豪勇無比の役を受け前面には豪勇無比の役 の和を得てゐる するとごは不可能なここだ

建國後最初

日本領事會議

會議の結果注目さる

した

日本軍に抵抗の対立してる

迎するこ 迎するこ 迎するこ

に着く

支那兵がまた

伊太利兵を射撃す

謝總長令弟 寄附 同情週間に五百圓

下するのは危を避け安きに取って人後に落ちないつも

支に萬一のこさあらば戈を

附くの嫌ひがある

藝妓稼ぎざは 織の噂が傳へられてゐるそ うだが自分さは何等関係が

銃强盗

時出生

男禰洲男一月三十日午和一

位一女京子 | 日午後十一時位十十岁に

料亭三杉といく代布巡り

妙ない

ざこざが起る

九日午後九時頃新京大經路道九日午後九時頃新京大經路道東田家四大院三九為傳三(五五)方へ二名の条統強後使人し条統を發射。主人傳三を射殺し暗に乗じて逃走した屆出により新京首都警察聽を初所により新京首都警察聽を初所により新京首都警察聽を初所により新京首都警察聽を初所 常級を張り犯人捜査中であっ

けされた

込みうま く前借を値切り倒 ので顔を出すさそこに嫁に行 でいろくく謀べて見るさ嫁に かつたらはまつかな斯り、磯 がへ連れて来るためシゲの叔 母さ軟稱し憐れつほい話を持 校改は十一日午前十時から同校では十一日午前十時から同様では十一日午前十時から同四平街校拜賀式

力日午後六時から。料亭松屋街支刷」發飯島四平街署長は に在四新聞通信記者を招き一 飯島署長招宴 (四4 て日く「このオデョルなど、出すラブレターを眺め景嘆 で日く

一日计 の湧 日か 一日間 來せるて

監督 十五卷

川崎弘子●尚 譲一一● 関子 主演を終に狂った夫婦が死の一歩手前まで行ったとき呼び戻しからに狂った夫婦が死の一歩手前まで行ったとき呼び戻したものは何か! 松竹 H 特作

れ残さ 天才小役市村美津子 主演 お菊ち P

松竹共營 長

吳佩孚も 南下を拒絕す

午後一時から四午街小學校北「四年街支給」 養紀元節當日

四平街氷滑大會

たが、遠に隣下拒絶を表明。 各方面から頗る注目されてる 介石の南下勧告しきりに行い 務の勸告効なし

日午後五時からヤマトホラ ので朗かな話題さなつて、 ので朗かな話題さなつて、 大廣画で新泉紀者協會与

しやっきて解散を肯じない 同智見をし

舊友達の答明に依つてゐる 生活費二萬元は北平に在る 精肉販賣者 に注意

、 徐洲國が建設期に入りたる 粉省機關に従来の消傷主義よ の結果に依り全端外

一、自分はまだ六十歳だ、北中ではむを潔しさしないし、南京に住むこさも好まない。 荒城十に牛ベスト酸生に鑑み 牛ペストに鑑み 新京署が

しやうにも此の仕未に

古凶禍福 新京署衛生保では十日午後一時から管内精肉的三十名を開 時から管内精肉的三十名を同 時から管内精肉的三十名を同 なした。 もし違反者を硬見し なした。 もし違反者を硬見し 施灸期間 靈灸名家 の難病者の大福音

森丸太郎翁來京

七日間

な太 本郎

新京祝町 太二月十日より

諸 機 械マシンツール音電気時計を りょうシントポンプを 動機(ウオシントポンプを種機械設置並に設計圖面を種機械設置並に設計圖面

暖」 長春鐵工所 取次電話二六四八番 東三條通六十番地

自動車修繕

次才 郎 晝 一夜公開

よい禁予を安退 贯

つの女學生はなぜ お裁縫が嫌び 家庭や學校でごう注意すれば

好きになれるか **禄政以長期財培元氣以固國** 歷所定各供職事學履無逸修 本有厚望焉爲此

は一〇〇瓦で四〇〇カロリーもあるのですから、これで 心要なカロリーを鑑つてしま 心要なカロリーを鑑つてしま のですから、これで は発育盛りの子 は、それでは発育盛りの子 はなさいつても一番多いのは はなさいつても一番多いのは をなっても一番ののは んでゐるのですから、 め食事が程よく識れれない その 阜成ス、寅賓寅銭ノ政ハ百工治メ敬テ人ニ時ラ授ク兆氏ラ 此ヨリ重キハナシ、維レ我カ古以來立刻ノ大經齊氏ノ大法 大協洲國畿次壬甲三月一日ラ 典ハ五禮ヲ秩敘スル所以、三フヲ允釐スル所以、三フ・ 國務總理 照シ得まり 孝 Ξ

令ノ師ヲ序シテ以テ磯功二資 領へヲ以テ禮俗ヲ正シ敬閉時 紀ス、日ハ星中ニ建チ律ハ爽以テ盛興伊レ始メ元ヲ大同ト ニ組フテ台ラ求メ地ニファ 推步測度シー **栄ては腹を抱へた位ではか**っ 年をいたく刺戟して

京

校でも女學校になつても。 學いでせうか。こいふのは、小學の半分は义家庭の責任ではな

間言か、せ

の年分は又家庭の責任でせうが

意してみるや

うにならそこで

味

この家庭で

だけは持つ やりになる

で困るさ

ても、きつき

● 1 ● △ 出が、官界成功の 定石のやっにいはれてゐる帝 大卒業、歸上りのお役人でな く、かうした遺を辿つて來た ここが、青雲に志ず青少年に 特殊な希望を抱かせるここに 年時代が、描かれてる 號に氏の少

り隣ク國内ニ領ツ、凡ソ我カシ玆ニ大同二年ノ時憲書ラ造

一見品格な東洋的な肌はをも での特主

1

う思つて一生懸命になられる さ切に墜んで居られ」 このに撃んで居られる

一懸命こと

少しは縫へ

は、ごうかと着

深ごいふ點から、子供によくないごいふここは一般に知られては居りますが、一般、二 銭ご買ぶを慣はなか / やめさせるここが出来ないものですが、他の榮養を振るのに邪魔をする點をよく考へて、子魔をする點をよく考へて、子

フ以テ朝本ヲ尚ム厚望有り

ではさいふ

養榮の供子

駄菓子の買喰

た分あるのです。 勿論駄菓子を死たし榮養不良になる虞がれているこさは一般に知られてはいる。子供によくないさいふこさは一般に知られては居りますが、一銭、二

ひから

せる。即校でほんの形式位

職業婦人をたづねて……?

ないやうにするここが肝

大同二年二月二

仕事がてきばき

出來てゆく朗かさ

□……この氣持を世間の皆樣へ

けだいさ思つてゐます、がいづれ職業婦人さして育て

環境新京醫院 立園みゆきさん

程の時間もなけってい

農民讀古機尾總三郎氏著 を讀む 者 本

「この筋は閉分忙しく家に歸 して勇躍するこさになつたの一念も手傳つて深く街頭目ざ 妹選 一番先に出る等の農民議本が 最後に出た理由は此れを書く る。理論さ實際ご頃方に詳し い人でなければ費けないので あるが署者は此點から見て日 本一の適任者である、著者が を開いるである。著者が を開いるである。 ・二黒の人 ●一白の人 オリカル 人 計画の各大にして世蹟の之れに伴はざる日人 自嗣の大利を見ながらも手出しの出來ぬ日こさ変さ玉が吉 人 前意を以しすれば何事も順調に進び行べし 内を庚ぎ玉が吉 したきを傾めば他は順調にて心配はなき日 丁さ庚さ癸か吉

国

日八十月正舊

房危赤己日

一月十二日

口西曜

けるの運勢

職業人な6な他の皆縁の味よ でも申し上がやりのない嬉し い助かな氣持ですよ。これは したがでする。これは て來るやうな場合も間々あり い職業を選びたひご思つてるい職業を選びたひご思つてる 思ふどほりに 「此の最氏證本一卷は本一卷は みの切める ○八日の・ ●五黄の人 ●六白の人 ●四線の人 ●三碧の人

> 外事にのみ然中するこさは内は空虚こなる 午前の苦は一時のこさ午後は帰さなるべし

滿洲國本曆 制定佈告

以來立國大經濟民大法真重

以資歲功茲造大同二年時憑數以正轉俗序啓閉時會之節 合地参驗主廣大 衍 五 行 之 日取法陽歷推步訓度順天米 **野廣頒國內凡我國人其儘本** 同旦述是中律中夾鍾乃和是 佈告得問知 石――さいよ紐特爆災物を動る一下である……相當なものであるといる経特爆災物を動 きのの)の他にもユーモア愉快火特戦さいふ殺らへ大に讃いくみ 三一太郎「曲りなりにも」岡 この特輯「新婚道中日

茶屋』角兵衛』なごの落語さ 『人生初年兵』を初め『馬子 トテモ朗かな笑ひの寰庫ですつかない。爆笑、哄笑の爆弾 こさは、現代の奇少 関行、苦學大成した ●▲國際聯盟日本代表 松岡洋右氏が十三歳

口記事、護物にも嚴選主義が充分に徹底してあるのは、 この雑誌のためにも全國の幼年受讀者のためにも全國の幼年受讀者のためにも全國の幼年で、野口雨情下村悅なこさです、野口雨情下村悅なこさです。 子供達を哀ば 子供達を哀ば

せるこで請合です

をノタマウは誰ぞ て頂きたいものである。 する所も大きい。

よはしてゐるやうに、内容で 数はしてゐるやうに、內容で 数はしてゐるやうに、內容で はしてらるやうに、内容が 表はしてらるやうに、内容が 表はしてらるやうに、内容が をさいつた氣分を多分に持つ でつます、いつもながら、子 での雑誌こしては、一点の悪 がれた、さころのない、青空 でいた、さころのない、青空

申三月一日廢輿伊始紀元大於此維北大備洲國以歲次王 池部釣氏作の誌上京劇の一 三線ればそこに大辻 月號、頁をバラく

幼年俱樂部

で、編輯者の労心が思はれまで、編輯者の労心が思はれまったのがで、 気の中に愉快権まる漫画前ひで、無邪

たしの生命線よ」て ▲をんなここを思ふさ、愛す この雑誌の編輯音に充分の感 飲を痒けたいものを思ふ。子 飲を痒けたいものを思ふ。子 章雑誌を设いて、断然第一位 が愛讀者が多いこさは他の見 が要請者が多いこさは他の見 にあるものだけに、 その影響 に農地酸やである。 機會産業 在郷軍人會其他一般保氏に必 である。 (東京市澁谷區代本町上原一〇九八)

局後拨會 (農村 研究會)

\$

す

紀

元

節

奉

视

舞

月

+

H

午

後

六

時

华

でジスは関

二月十

日

午

後

t

時

2

9

紀

祝奉

踏

會

電三八〇六

三笠町二丁月十七

元

節

奉

祝

大舞踏

會を

催

\$

電話三七三七番話

建築金物専門の店を開きました 警察を消防隊の中間

滿洲金物鮮新京出張所

支本店店 話京 呼祝 天 出町 千 手 = 10伊三丁 田勢 八目 - <u>Fi</u> 町番番

白菜なべ。 水炊。はまなべ。 あんこなべ De ne th

らざれば愈々進行鈍の來べし

鍋科門 多 3 どろき 電話三九三六番

院にタイピスと乗

女の身さして何か自分に仕事

いさ望んではゐたのですじれ

いまその主なる彼女

仕事が自分の

しかし…

張いこさでせう。そう決心しを持つてゐたらごんなにか心

領の娘さんである

刺親を助けて

ぜひ妹さん

十四百六十三第 ものでもあ

ゆきさん――は昭和五年春學事務員さして活躍する立園み 現在の醫院に 各方向にそれる「職業婦人さして斃ましい進出振りを見せてゐる。

こさは見逃するこさの出来ない事質である。今や新京だけでも五十余名の同校出身者が含なショックを興へた。その結果は職業へ職業へき勇闘する彼女達の領かに殖えて來た含彼女達の就職熱が勃然さして起つて來た。新京 高女が昭和三年初めて第一回卒業生を婦人の職業戦線が擴がつてゆく…… こ首都新京も事變以来、異狀なる發展につれて岩炉人の職業戦線が擴がつてゆく…… こ首都新京も事變以来、異狀なる發展につれて岩

